



琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第31号



完成した氷川保育園

氷川保育園 移転新築工事終了

ごあいさつ



氷川保育園

園長 杉村誠二

— 新たなスタート —

氷川保育園では、この度、多くの関係者みなさまの温かいご支援・ご協力によりまして、園舎移転改築を実施することができました。心より感謝申し上げます。

思い起せば、昭和二十四年五月周慶院本堂の一隅からのスタートでした。当時は、児童福祉法が制定されまもない頃でもあり、幼児保育に関心など殆んどなく、誰もが食べるのに精一杯だった時代です。ゼロからのスタートというより、マイナスイからのスタートだったといえます。残された当時の写真では、子ども達の屈託のない笑顔がそこにあり、この町の大きな希望の光だったのでしよう。いままでに、3,086人の子ども達が巣立っていき親子三代にわたり卒園写真があるケースもめずらしくありません。

これから、新園舎での保育が始まりますが、創設時の保育の原点に立ち返り、未来ある子ども達ですこやかに成長していけるよう見守っていきたいと思います。

平成19年度琴清苑事業計画・収支予算(抜粋)

経営方針

これからの介護老人福祉施設は、昨年4月の介護報酬の改定等によりますます厳しさを増す経営環境の中、更なる事業の効率化、サービスの質の向上が強く求められています。

事業の効率化・サービスの質の向上については、職員・非常勤職員配置の効率的活用により介護体制の見直し・再構築を図り、利用者・社会ニーズに沿った施設内の研修の実施・研究により職員個々の自己啓発に積極的に取り組んでいきます。また、情報開示、職員の安定雇用、継続雇用制度の導入、介護サービス情報の公表、第三者評価の導入、苦情処理体制についても充実を図っていきます。このように施設経営が非常に厳しくなる中において、開設後30年を迎える施設の改築計画の具体的立案・施設設備の老朽化対策に対応していくにあたり、施設整備費国庫補助負担金等における補助制度の先行きを見定めながら運営を展開していくことが肝要であると考えています。

1 重点目標

I 介護保険制度化での安定した経営

介護職員としての自覚、継続雇用制度の導入、パート職員の効率的利用、コスト意識の徹底、業務内容の見直しを検討、協議しながら業務の展開を図ります。

II 職員の資質の向上と情報開示

介護サービスの質の向上に向けた意識改革を徹底する為に、各委員会機能の充実を図る。ホームページ掲載事項の見直しを行い、介護情報サービスの公表等情報の開示に努めます。

III 法人の理念である「心の福祉」の実践とチームワークの強化

人間的なふれあいの中での処遇が実践できるよう介護体制の見直しを行います。専門職としてのプロ意識の徹底を図ります。目的達成の為の協体制の確立に努めます。

2 地域福祉サービス計画

I 短期入所生活介護事業

利用しやすい事業の実現に向け、体制作りを行っているところですが、定員が併設型1ベッドの為計画を組みにくい形にあり、利用率を拡大するまで至っていません。今年度は今まで以上に事業の広報・周知に努めたいと考えています。また、空床利用については、入院・入所までの空ベッドを効率よく利用していただけるよう、常に町の支援センター・小菅村・丹波山村等と連絡を密にして働きかけを行います。

3 年間施設整備計画

- ★軽自動車の車輛交換(ワゴンR:4WD)
【耐用年数超過・移行時特別積立金取崩事業】
- ★建物設備の老朽化対策強化
【老朽劣化による改修等】

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)	
勘定科目	琴清苑会計
経常活動収入計①	359,349,000
経常活動支出計②	342,818,000
経常活動資金収支差額③(①-②)	16,531,000
施設整備等収入計④	0
施設整備等支出計⑤	2,293,000
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	-2,293,000
財務活動等収入⑦	2,790,000
財務活動等支出⑧	0
財務活動等資金収支差額⑨(⑦-⑧)	2,790,000
予備費⑩	17,028,000
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨-⑩)	0
前期末支払資金残高⑫	126,002,677
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)	126,002,677



氷川保育園 移転新築落成式



平成十九年三月十七日に、落成式を迎えました。

旧園舎は、昭和三十八年十月に社会福祉法人双葉会設立を期して建設され、四十三年間にわたり多くの子供達を見守ってきました。ここ数年、老朽化が目立ち始め、改築を考えざるを得なくなり、移転新築となりました。

平成十九年四月より新園舎での保育が始まりますが、法人創設時を想起し、今後益々の保育の充実を図ってまいりたいと思っております。

餅つき大会

羽黒三田神社囃子振興会による、笛の音・鳴り物・お獅子が突然登場して、正月らしい懐かしい音色や景色を演出する中を、今年定年退職する杉山介護職員・看護職員が代わる代わるに、餅をつき上げました。見学の利用者は大喜びで、半数近い20名の利用者が、「美味しい」と言いながら召し上がっていました。



節分の豆まき

各居室を職員の扮する、神主・巫女が御祓いに回った後、赤鬼・青鬼が居室に入って来た所に、大きな声で豆をまきました。最近では独歩で豆まきをする利用者が少ない中、数人の利用者が代表で、目を丸くして職員と一緒に興奮していました。普段では見られない生き生きとした笑顔が印象的でした。



ひなまつり

二階食堂に飾られたひな壇を前に、ひな祭りを行いました。皆様ひな壇に飾られた雛人形に見入られて、嬉しそうな表情をされました。



定年勤続 ご苦労様でした

十五年三ヶ月の勤務を終え、杉山初子さんが定年を迎えました。長い間、ご苦労様でした。



ドクター中野の星のおはなし No.24

冥王星が惑星でなくなった

太陽を中心にその周囲をめぐる惑星は全部で9個あり、最外側を回る星が冥王星で、1930年アメリカでアメリカ人の手によって発見された。1781年に天王星、1840年に海王星が発見されたが、原因といえば科学技術の大きな進歩発展による。天体望遠鏡の発明、万有引力の法則の発見等が主役でもあり、特にアメリカで写真術の改良が冥王星の発見に大きな力となったとされる。ところが冥王星は太陽から最果ての惑星に違いないが、あまりにも他の惑星と違いすぎることに気がついた。次に列記してみる。

他の惑星の軌道と比べ正円に近いものではなくひどく長い楕円で17度も他より傾いていること。軌道を進んでゆくとどんどん小さくなってゆき、地球の月の半分程度にってしまった。(2,300km) 1978年に発見された衛星のカロンは母惑星の約半分もあり、二重惑星の様相を示した。軌道関係からいえば、海王星の軌道内に入り海王星よりも太陽に近くなるという異常な状態になるのは一目瞭然である。又主成分は氷塊であることも証明されこんな状態で惑星といえるかなという疑問も起こりはじめた。

40年も前、アメリカのエッジワース、カイパーによって冥王星よりもはるか遠で1992年予想されていた場所に小天体が発見された。これは1992QB1と命名され惑星の定義づけに決定的材料になった。一団の小天体は次々発見されて、1,000個以上にもなってきた。冥王星はこの星々の仲間といってもおかしくないと考えられる人も多くなった。しかしこのころ、国際天文学連合(IAU)の中の第3部会で「別に冥王星の地位を変えろ」という話し合いはない、する必要もない」といへない話も出て、このとき冥王星なみの大きな天体は見つかったらいいので、惑星として認めようという意志があったらしいが、時と共にカイパーベルト天体をはじめ、はるか大きく遠方の天体が続々発見されてきた。群れには個人名をつけることなく汎海王星天体とよぶ学者も多いし、日本では汎海王星天体の英頭文字をとってEKBOを「えくぼ」と親しみを込めて呼んでいる学者もある。

世界的な関心を受けてIAUで「惑星を定義する特別委員会」を設定し委員が7名選出された。氏名・国籍・専攻の順に記す。A・フライク(フランス、パリ・ムードン天文台、惑星リング) ウィリアムズ(イギリス、流星)、渡部潤一(日本、彗星) R・ビンツェル(アメリカ、小惑星)、C・サセルキス(フランス、銀河)

ギンガリッチ(アメリカ、天文学史)、D・ソルベ(アメリカ、作家)以上であるが作家、史家を加えたのは社会的影響を考えたという。

ところでIAU(国際天文連合)は天文研究者の組織で創設は1919年、本部はパリ、2006年8月現在85カ国8,899人の会員がいる。重要事項の決定等あらゆる天文学的な問題が検討される。3年毎、世界中まわりもて総会が開催される。昨年8月14日にチェコのプラハで第26回総会が開催された。出席者は2,300人だったという。

惑星の定義を議題とすることは2003年に開催された前回の総会で決定してはいたが、約2年前惑星担当部会の委員19名との相談がまとまらず、執行部は各方面との接触で分かりやすい方法をとって原案を作成した。案によれば惑星12個、冥王星、セレス、カロン、LD03 B313(星名)の計12個とする。(冥王星が入る)挙手による賛否から本件は否決された。

そこで最終案が8月24日にまとめられ、4つの決議案にして投票が行われた結果「冥王星を除く8つの天体だけを惑星とする、矮(ワイ)惑星(仮訳)とする、冥王星を含む範囲のものはそれに準ずる」という結論が出された。これで冥王星は発見から76年7ヶ月をへて惑星の座から離れた。この結末に各層各人の感想がある。

新開報道で・・・惑星が除外・・・降格、さよなら冥王星、追悼冥王星・・・冥王星は死んだ・・・冥王星は狂騒曲の一面はあったかもしれないが、太陽系がくもんと拡がったことも事実。冥王星が新しい種族の盟主とされたこと、さらに惑星代表委員会に唯一の代表天文台の渡部潤一は日本が世界の天文学の一角を担う証となったことは喜ばしい。



冥王星を除いた惑星

編集後記

奥多摩のむかし道にもやさしい春がやってきました。すみれやきんぎょ、ちようじざくらなどの可憐な花が所々にみられます。散策にはもってこいの季節到来です。



ボランティア状況(1月~3月)
(敬称略)

シート交換
指圧奉仕
奥多摩奉仕会

杉山 初
奥多摩奉仕会



入死された利用者(1月~3月)

1月	奥多摩町	1名
1月	杉並区	1名
2月	台東区	1名
3月	板橋区	1名

行事予定

4月6日	お花見
4月8日	花祭り
4月13日	寿司の日
4月27日	昼食会
5月3日	昼食会
5月5日	菖蒲湯
5月23日	昼食会
6月2日	全館清掃
6月27日	昼食会